

試験研究（中間）評価整理表

意見整理表2(中間評価)

試験研究機関名 内水面水産試験場

所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	外部評価アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期		
1	豊かで魅力ある水産業の振興	アユ増殖技術研究	種苗特性把握試験	種苗特性の因子として、アユ冷水病に対する耐性を評価するため、濁りによる攻撃試験で評価する。さらに、天然アユと人工アユの判別手法を開発する。	・実験池内で人為的な濁りによる攻撃試験で冷水病の発病及びへい死状況を調べる。 ・天然アユと人工アユについて、外部形態による判別分析を行う。	平成13	平成17	D	・天然ものへの関心が高い。英断されたものと判断する。
2	豊かで魅力ある水産業の振興	湖沼魚類(ワカサギ)増殖技術研究	ワカサギ 資源動向モニタリングと解析	適正な資源増殖管理手法を得るため、資源と漁場の経年変化をモニタリングし、解析する。	H13～H17; 漁場環境調査(水質調査、餌料調査)、資源量調査(産卵場調査、穴釣り調査、音響調査)	平成5	平成17	B	・冬の観光資源として、ワカサギは注目されると思います。周囲の環境から冬期間の観光スポットとして多いに発展されたいと考えます。
3	豊かで魅力ある水産業の振興	湖沼魚類(ワカサギ)増殖技術研究	ワカサギ 漁場特性に応じた増殖技術開発	県内産のワカサギ種卵を確保するため、採卵技術と放流技術を検討する。	H13～H15; 親魚採捕、採卵・採精技術の改良 H16～H17; 種卵輸送技術の導入試験、漁協間の種卵供給指導	平成7	平成17	B	・収量安定のために期待される研究と考えます。
4	豊かで魅力ある水産業の振興	養殖技術の高度化	養殖対象新魚種導入研究	養殖業者にとって有用な新魚種であるモツゴの種苗生産技術を開発し、技術を移転して鯉養殖の副産物として生産されているモツゴの生産量の増大に資する。	モツゴ親魚の成熟動向を調査する。また、採卵手法、初期餌料や飼育環境をはじめとした育成手法を検討する。	平成元	平成17	C	・改善点が示されている。